

爆発する「Twitter」人口

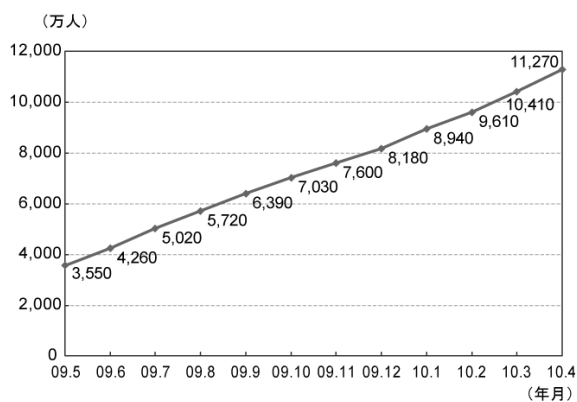
世界の Twitter 人口は 1 億 1,270 万人、この 1 年で 3 倍に

140 文字の「つぶやき」(Tweet) を 1 日に何度も投稿することで他人とつながる、ミニブログこと「Twitter」。

その利用者が爆発的に増加している。4 月時点の Twitter 登録者数は 1 億 1,270 万人。この 1 年で 3 倍強のスピードで増えており、現在でも成長ペースが衰えない。

サービス開始は 2006 年 7 月、4 年もたらずに 1 億人を突破した。1 日当たり 5,500 万回の「つぶやき」が発信され、検索される回数は 1 日当たり 6 億回という驚異的な数字である。Twitter を読んでいる人 (フォロワー) はもっと多く、1.8 億人と言われている。

「Twitter」登録者数の推移 (全世界)



【出所】 Twellow.com 調べ

日本では 1,000 万人突破が間近

日本ではどの程度浸透しているのだろうか。登録者数は 4 月時点で推定 700~800 万人と言われ、今年中に 1,000 万人を突破するのは確実と言われている。Tweet Sentiments による報告では日本の「つぶやき」シェア (登録者数ではない) は、世界 2 位の約 10% で推移している。1 日 500 万回以上の「つぶやき」がされている計算になる。

日本でのサービス開始は 2008 年 4 月。2 年強で 1,000 万人に浸透する計算になる。ちなみに、文字数制限のない日記風のブログ数は、1,690 万 (総務庁調査)。この数値を追い抜くという意見が多い。

企業が活用するメリットは

Twitter を新たなマーケティングツールとして展開する動きは活発だ。

フォーチュン・グローバル 100 社のソーシャルメディアの活用状況は、Twitter65 社、SNS の Facebook54 社、動画サイト YouTube50 社、企業ブログを持っているのは 33 社である。Twitter がもっとも活用されている一方、企業ブログは思ったより浸透していない。

なぜ、注目されるのか。それはアクティブなユーザーに、リアルタイムで濃密なコミュニケーションができるからだ。通常のメルマガでは一方通行のコミュニケーションになり、読まれないことも多い。Twitter はリアルタイムかつ双方向性であるために、店頭で接客するような対話型のコミュニケーションをすることも可能なのだ。

とはいえ、一定数以上のフォロワーを確保するための情報提供やコミュニケーションの労力はたいへんだ。アメリカではデル・コンピュータの成功が有名で、5 月時点でのフォロワー数は約 150 万人。日本ではユニクロが約 3 万人、成功例と言われるカトキチ（現テーブルマーク）で約 2 万人とまだまだ少ない（ちなみに 5 月時点で日本最大のフォロワー数を誇っていたのは、鳩山前首相で約 38 万人）。

「140 文字のマーケティング」が今年のキーワードとなりそうだ。